

広報

く 留 米

KURUME CITY PUBLIC RELATIONS



自分らしい生活を送るために ④
令和4年度決算報告 ⑩

第8回久留米たまがる大道芸 ⑨
秋のこどもまんなか月間 ⑮



災害支援などにと車両を寄贈

大雨被害を受けて、10月11日に市はダイハツ九州から車両1台の寄贈を受けました。令和2年に続き3回目。エンジンは田主丸町にある同社工場で製造したものです。市は、災害支援をはじめ、さまざまな用途に使う予定です。

日野克浩社長は「想定外の事態への対応は企業も行政も同じ。少しでも市の活性化につながるよう、役立てていただきたい」と話しました。



日野社長(左)に、原口市長から感謝状が渡されました

力合わせて農地を復旧

7月大雨で果樹や植木の根元に泥が流れ込み、大きな被害が発生しました。市は、9月29日に農地復旧ボランティアセンターを開設。これまで100人以上のボランティアが泥出しなどを行っています。

初めて参加した吉田貴衣さん(広川町)は「農家が元気を取り戻せるよう、力になりたい」と話しました。参加には登録が必要です。詳しくは市ホームページを確認を。



巨峰が再び実るよう、力を合わせて根元の泥をかき出すボランティア

秋空の下、校区対抗で汗を流す

10月15日、久留米総合スポーツセンター陸上競技場で久留米オリンピックピックが5年ぶりに開催されました。秋の晴天が広がる中、31の校区や地域から約2000人が参加。小学生リレーや綱引き、アジャタ(スポーツ玉入れ)などで競いました。最終の年齢別リレーでは小学生から50代までの11人がバトンをつなぎ、ひととき大きな声援が。熱戦の結果、安武校区が総合優勝に輝きました。



小学生リレーでは校区のみならずからの声援が送られる中、1年生から6年生までが力いっぱい走りました

日本一の計算技術を披露

久留米商業高校の珠算・電卓部が、「全国高等学校ビジネス計算競技大会」(7月25日・横浜武道館)で珠算の部日本一、電卓の部6位入賞を果たしました。珠算検定1級に満点合格した廣瀬麗姫さん(3年)をはじめ、め選手6人が10月12日に原口市長に報告。その腕前を披露しました。そろばんや電卓を目にもとまらぬ早さで操り、正確な答えを出していききました。



市長応接室で日本一の技術を披露する6人。その集中力と技術に原口市長(右)も圧倒されました

久留米産農産物をアピール

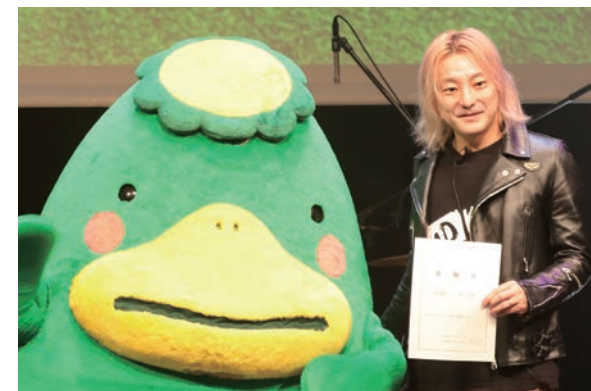
10月17日、福岡市中央卸売市場で原口新五市長と高木典雄うきは市長、右田英訓J.Aにじ組合長が農産物のトップセールスを行いました。福岡都市圏への販路拡大を狙い。場内で柿とトマト300セットを配布して魅力をアピールしたり、リーフレタスなどを展示したりしました。原口市長は「農家が大雨被害に負けずに生産したもので、多くの方に食べていただきたい」と話しました。



原口市長が、旬を迎える柿とトマトを仲買人に手渡し。11月にも大阪市の市場で葉物野菜を宣伝します

久留米の魅力と音楽を世界に

9月30日、市出身の松隈ケンタさんがくるめふるさと大使に就任しました。松隈さんは「新しい学校のリーダーズ」への楽曲提供をはじめ多くのミュージシャンを手がける音楽プロデューサー。「くるめライブチャレンジ」のスペシャルアドバイザーも務めています。久留米シティプラザであった就任式で松隈さんは「久留米の魅力を全国、世界に伝えたい」と話しました。



就任式でふるさと大使の委嘱状を受け取った松隈さん

市公式 SNS で情報発信中

災害などの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。



「広報久留米」を多言語で

「広報久留米」を無料アプリ「カタログポケット」で配信しています。英語のほか、韓国、中国(繁体字/簡体字)、タイ、ポルトガル、スペイン、インドネシア、ベトナム各言語に自動翻訳と読み上げもします。

※ QR コードは株式会社デンソーウェブの商標登録です

TV・ラジオで放送中

KBC テレビ d ボタン

- ①テレビでKBCを視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大12項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・ 広報くるめラジオ版 (月~金) 12時5分
- ・ インクルージョンの in 久留米 (出) 14時48分。お笑い芸人が久留米のよかとこを配信

インクルージョン(福岡よしもと)

今月の表紙 // 秋風にそよぐコスモス



10月21、22日に北野町でコスモスフェスティバルがありました。訪れた人々は秋を告げるコスモスとイベントを楽しみました。

特集 自分らしい生活を送るために

住み慣れた「まち」で暮らしていく

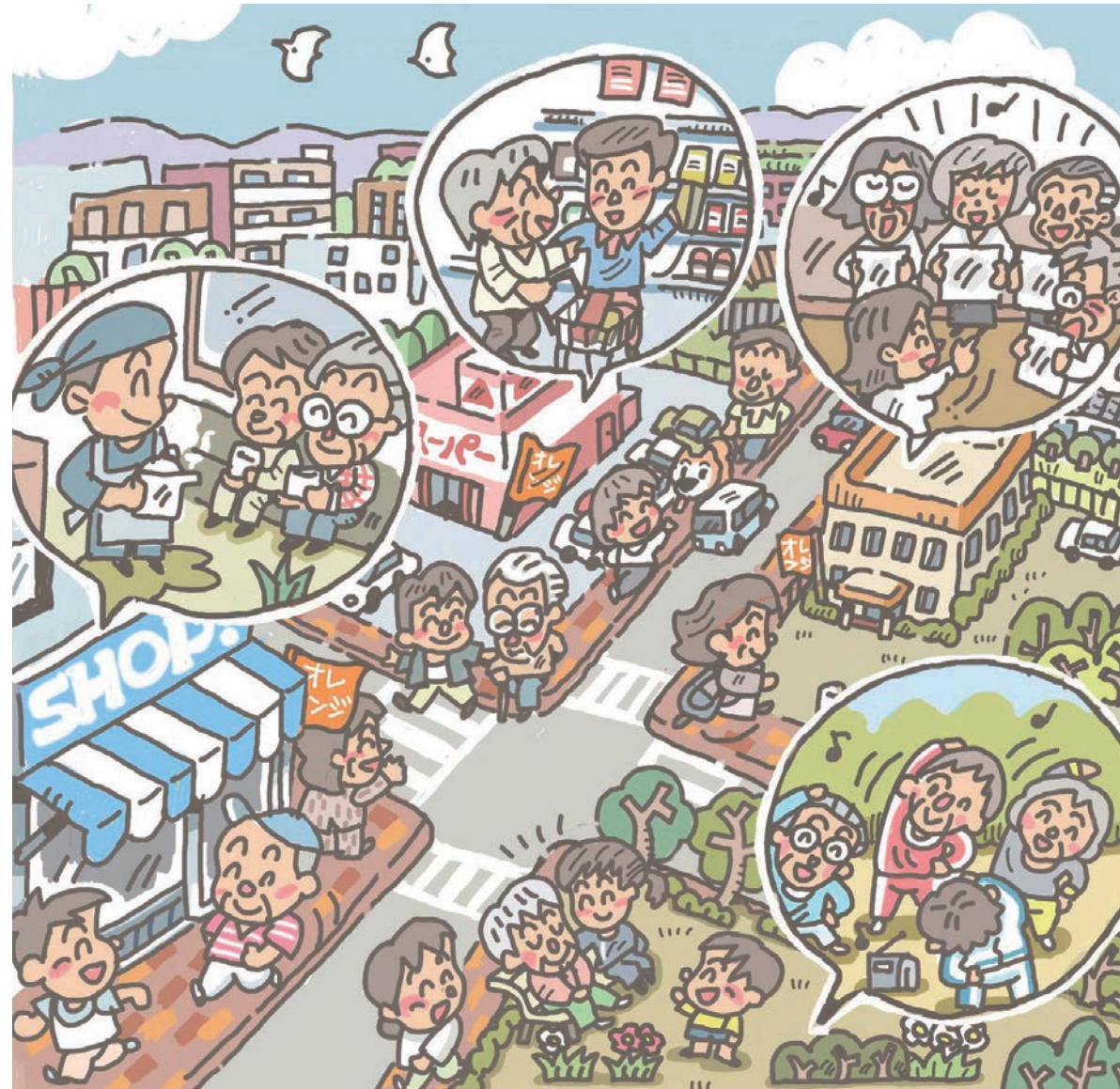
誰もが年齢を重ねると、心と体の状態が変化していきます。自分らしく元気に暮らし続けるために久留米市が行っている取り組みを紹介します。

「通いの場」が介護予防に

高齢者が住み慣れた地域で生き生きと過ごしていくには、人とのつながりや役割、生きがいを持つことが大切です。近隣の人や友人たちと気軽に集まって、一緒に体操したり、趣味活動をしたりする身近な居場所が、生きがいづくりの一つになります。社会参加の頻度が高いほど、転倒や認知症、うつなどのリスクが低い傾向が明らかです。地域に居場所や役割、仲間がいることがいつまでも元気に過ごすための第一歩になります。

5人以上が集まって活動する場所を「通いの場」として登録する制度ができました。「通いの場」は、生きがいや仲間作りのきっかけになり、介護予防の拠点にも。ステップ運動や会食、ボランティア、農作業などの活動で、地域住民が自由に参加できるグループが登録できます。申請書を提出し、登録すると3つの支援を受けられます。

■申請条件 65歳以上の市民が5人以上で、毎月1回以上集まって活動すること ■料金無料 ■支援内容 ①団体活動を市ホームページなどに掲載 ②介護予防教材「タオルDEこげんよか体操」のDVDとリーフレット進呈 ③1年に3回まで介護予防についての講師を派遣



認知症の人が安心して暮らす

厚生労働省は、令和7年には認知症の人が全国で約700万人になると見込んでいます。高齢者の5人に1人の割合です。

市には、症状や気持ちを正しく理解し、本人やその家族を地域で温かく見守り支える、市民の「認知症サポーター」がいます。

市はこの取り組みをさらに進めるため、サポーターが集まり、団体として認知症の人を支える「オレンジ協力隊」の募集を始めています。スーパーマーケットや銀行などの店舗や地域の団体が支援できることを宣言し、市に登録。「久留米市

チームオレンジ」として、市全体で認知症の人が安心して過ごせるまちに向けて取り組みます。協力隊は市ホームページで紹介し、ステッカーなどの目印を掲げます。認知症になっても住み慣れた地域で生活ができる環境をみんな目指します。

◎長寿支援課 (0942・309207、FAX 0942・366845)



全国チームオレンジのロゴマーク

認知症サポーターの養成講座についてはこちら



通いの場の登録についてはこちら



オレンジ協力隊になるには

オレンジ協力隊は、約10人以上の団体で、その半数程度が認知症サポーターであることが必要です。認知症の人への接し方、本人やその家族に対してできる事をオレンジ協力隊養成講座で考え、活動を宣言した後、市に登録されます。養成講座を開催したい場合、市から講師を派遣します。詳しくは市ホームページを確認してください。

登録までの流れ



オレンジ協力隊の養成講座についてはこちら



インタビュー 仲間と楽しく過ごせる場の大切さ

柴刈校区でネギの包装やスーパーフード「モリンガ」の栽培、加工、販売を行う「姫の会」で活動する高山憲行さんに話を聞きました。

東日本大震災が起き、絆を大切にする機運が広まったのに、新型コロナで人とのつながりが分断されました。そんな中、地域の仲間が集まって何かできないかと考え、活動を開始しました。「姫の会」は、週に5~6日集まって、ネギを決められた重さで包装する作

業とモリンガの栽培から販売までをしています。作業する仲間は、60歳から80歳代までの7人。今では会員で旅行に行くことを目標に作業を頑張っています。近くで集まり、仲間と楽しく過ごせる場が大切だと感じています。



姫の会の高山ハルミさん(左)と高山憲行さん



元気なうちに、話し合っておくと安心です



もしもの時に大切にしたいことが書かれた「もしバナカード」



人生会議の「ススメ」

最期の過ごし方を周りの人と話し合う

人生の最期をどう過ごすか。考えたくないし、縁起でもないし敬遠しがちです。でも、年齢問わず誰にでもその日は訪れます。最期まで自分らしく生きるには、家族など周りの人に思いを伝える日頃の「コミュニケーション」が大切です。

7割が意思表示できない

大きな病気やけがで命の危険が迫った状態になると、7割の人が意思表示ができなくなるといわれています。ところが、周りの人は治療方針についてすぐに答えを出さなければなりません。意思が分からないまま出した結論が、本人が望むものだったのかと悩み続ける場合もあります。

日々の看病の場面でも、本人に病状をどう伝えるか、延命治療をするかどうか、最期を迎える場所はどこにするかなど、その都度難しい選択を迫られます。

残りの人生をどう生きる

新聞やテレビで「終活」が話題になる機会が増えてきました。「人

ページからダウンロードもできます。

誰も自分の最期は経験したことがありません。不安になったり感情が揺れ動いたりするので、今は考えたくないという人への配慮も必要で

す。あらたまって会議をしなくても、

何気ない会話の中にお互いの人生観を話すきっかけがあります。

健康推進課 ☎0942・30・9729、FAX 0942・30・9833

周りの人と話したい「最期」のこと

「私の生き方ノート」から、人生会議をするのに大事なポイントを紹介します

①自分が大切にしたいことを考える

今の考え方を示しておく、将来周りの人が判断する時に役立ちます

もしもの時、自分が大切にしたいことは？

- 家族や友人のそばにいる
- 身の回りのことが自分でできる
- 少しでも長く生きる
- 家族の負担にならない
- 痛みや苦しみが無い
- できる限りの治療を受ける

生き続けるのが大変な時、自分はどうか過ごしたいか？

- 治療やケアを受けて長く生きたい
- 今以上の積極的な治療やケアは受けたくない
- 痛みやつらい症状は取り除いてもらうが、延命治療は受けたくない



私の生き方ノート表紙

②周りの人と話し合い、共有する

家族や医療・介護関係者など、自分の思いを伝えてくれる人を決めて、価値観や人生観を共有しましょう

③話し合った結果を書きとめる

話し合ったことは書いておくのがオススメ。希望や思いは変わることもあるので、繰り返し話し合しましょう

訪問診療の医師にインタビュー



むたほとめきクリニック 院長 牟田文彦さん

医療や介護の専門職が支援

患者さんに病状を説明すると、「私は延命治療せず、このままでいい」と言う人も多いです。ところが、呼吸が浅くなると家族は慌てて救急車を呼び、本人の意向に添わない最期を迎えることも。人生の最期をどう過ごしたいかは人それぞれです。思いは揺れ動くので、相談できる相手があると安心です。迷いに寄り添いながら、希望に合う医療や介護サービスが受けられるよう、専門職が支援できるので気軽に相談してほしいです。



動画公開



浮島校区高齢者学級の皆さん。自分の思いに近いカードを選びます

「最期の時を考えるのに「余命わずか」を想定し、自分の思いを整理する「もしバナゲーム」という方法があります。「恋の話」は恋バナ、もしもの話を略して「もしバナ」と言います。10月4日、浮島校区高齢者学級の皆さんは、ゲームを体験しました。

自分の思いに向き合う

「生」の最期に向かかって、あらかじめ備えておくことです。最近では、「備えだけでなく「残りの人生をどう生きるか」という前向きな考え方に変わってきています。そこで久留米市は「人生会議※」を勧めています。もしものときの医療や介護の希望について、周りの人と日頃から話し合い、共有することです。

「痛みがない」「人との温かいつながりがある」「いい人生だったと思える」などが書かれたカードから、自分の思いに近いものを選び、最も欠かせない3枚に絞ります。他の人の話を聞くと、価値観や考え方に違いがあることも分かります。参加した江島頼子さんは、「これまでいろんな人の最期を見届けてきました。父は、家族に見守られ、『みんな仲良くせやんよ』と言って旅立ちました。私も家族や友人との交流を大切にしてきたので、医療や介護の希望を子どもたちに伝えておきたい」と話しました。

ノートを手掛かりに話し合う

市は、「私の生き方ノート」を配布しています。治療や介護方針を話し合う手がかりになるものです。治療や介護の希望、最期の過ごし方いざという時に代弁してくれる人などを書いておきます。法的な権利は発生しないので、何度でも書き直せます。ノートは市健康推進課や各総合支所市民福祉課、地域包括支援センターなどに設置。市ホームページ

※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を言い換えた表現



みんなで支え合う介護保険

本人の希望を尊重し 介護サービスを選ぶ

人は年齢を重ねると、介護が必要になる時があります。介護サービスの利用は、高齢者が自ら望む環境で生き生きと生活することにつながります。介護保険課の吉田有佑さんに話を聞きました。

まずは要介護認定申請から

介護保険制度は、40歳以上の被保険者が保険料を納め、介護が必要になったら介護サービスを利用できるというものです。1〜3割の費用負担でサービスを受けられます。介護が必要かもしれないと感じたら、要介護認定申請を行います。介護の必要性を示す「要介



介護保険課
吉田有佑さん

護状態区分」を市が認定。区分は、要支援1〜2と、要介護1（軽度）〜5（重度）の7段階に分けられます。

認定された区分を基に、本人や家族は地域包括支援センターや居宅介護事業者などのケアマネジャーと相談し、サービスを決定します。申請は介護保険課、各総合支所市民福祉課、各市民センター、インターネットでもできます。気軽に申請相談してください。

本人の意思に沿った支援へ

介護サービスは、さまざまな種類があります。デイサービスや訪問介護、ショートステイなどの在宅サービスや施設へ入所する施設型サービスがあります。

本人がどのように過ごしていきたいかを尊重しながら、ケアマネジャーなどと一緒にサービスを選びます。ためらわずに利用してもらえたらと思います。

◎介護保険課（☎0942・30・9205、FAX0942・36・6845）

第8回

久留米たまがる 大道芸2023

今年もまちに笑顔を運んでくる

11.18(土) 14:00~19:00
19(日) 10:30~15:30

昨年より時間を拡大

今年も「久留米たまがる大道芸」を開催します。11月18日(土)、19日(日)に、久留米シティプラザ六角堂広場、ほとめき通り商店街、東町公園、西鉄久留米駅東口広場の4カ所を会場に大道芸人による個性豊かなパフォーマンスが繰り広げられます。初登場の3組を含む17組が出演。時間も昨年より拡大し、18日(土)は14時から19時、19日(日)は10時30分から15時30分まで。日本トップクラスの芸人たちが、久留米のまちを笑顔にします。

パレードやキッズ企画も

昨年好評だった子ども向けの宝さがしゲーム「くるっぽをさが



中国雑技芸術団による驚きの技が披露されます（昨年の様子）



体長3mのHAROは近くで見ると迫力があります（昨年のパレードの様子）

高齢者に関する相談は地域包括支援センターへ

地域包括支援センターは、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などが連携しながら高齢者の生活を総合的に支援しています。介護サービスだけでなく、健康、介護予防や日常生活の困り事、金銭管理への不安などさまざま

な相談に応じます。センターは市内に11カ所あり、地域ごとに分かれています。受け付け時間は平日の8時30分から17時15分まで。利用は無料です。担当のセンターは、市ホームページで確認してください。

◎長寿支援課（☎0942・30・9038、FAX0942・36・6845）



えーるピア久留米に併設する久留米中央第3地域包括支援センター

せ！」を今年も開催。各会場にいくつぱの中から、パンフレットに載っている同じポーズのくるっぽを探し、キーワードを完成させます。今年はいくつぱがなくした物を探す謎解きの「むずかしいコース」も。

ほとめき通り商店街では、パレードも行われます。毎年人気の足長ウォーキングアクトのH.A.R.O.や初登場の松鶴家天太などが登場。間近で芸人たちと触れ合えます。

◎久留米シティプラザ（☎0942・36・3000、FAX0942・36・3087）

円滑な交通確保のために新しい道路を整備しました



重点施策と主な事業

防災・減災対策

- 市街地浸水対策、河川排水路等改良・補修、防災重点ため池対策など（一般会計分）17億2,797万円
国や県などと連携し、市街地の浸水対策や河川の改修、農業用ため池のしゅんせつなどを実施
- 協働による治水対策の推進 3,879万円
市民・地域・企業・行政が連携した、田んぼダム促進など、浸水対策のための取り組み

感染症対策と物価高騰対策

- 物価高騰対策等に関する給付 35億8,676万円
物価高騰の影響を受けた子育て世帯や住民税非課税世帯を支援
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 17億3,301万円
- 学校・保育所等給食支援 2億5,922万円
食材費等高騰の影響を受けた給食費の一部を支援

安心・安全のまち

- 公園長寿命化 5,589万円

活力のあるまち

- 中環状道路整備 3億7,185万円
十三部とゆめタウン間の整備。令和5年3月開通
- 四季のイベント振興・まちなか賑わい創造 1億3,707万円
まちの元気回復のために、感染症対策と両立したイベント・祭りの開催を支援

活き活き生活・活躍できる共生のまち

- 教育ICT活用 2億6,830万円
- 市民スポーツ推進 1,859万円
スポーツに親しむ機会の充実を図る取り組み

デジタル化の推進

- 行政手続き等におけるデジタル化推進 1億9,748万円
- キャッシュレス決済導入 363万円

特別会計決算の状況

区分	金額
国民健康保険事業	歳入 336億9,559万円
	歳出 324億1,902万円
競輪事業	歳入 280億6,077万円
	歳出 273億5,663万円
卸売市場事業	歳入 3億9,275万円
	歳出 3億7,694万円
住宅新築資金等貸付事業	歳入 4,496万円
	歳出 4,496万円
市営駐車場事業	歳入 7,367万円
	歳出 6,322万円
介護保険事業	歳入 279億880万円
	歳出 275億3,745万円
農業集落排水事業	歳入 2億7,698万円
	歳出 2億6,661万円
特定地域生活排水処理事業	歳入 1億9,657万円
	歳出 1億8,421万円
後期高齢者医療事業	歳入 47億8,979万円
	歳出 46億7,592万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	歳入 2億5,840万円
	歳出 9,461万円
産業団地整備事業	歳入 6,185万円
	歳出 6,185万円

公営企業会計決算の状況

区分	金額
水道事業	収益 46億1,528万円
	費用 42億2,917万円
下水道事業	収益 74億1,077万円
	費用 67億281万円

特別会計
全ての事業で黒字

特別会計は、一般会計とは別に特定の事業を行うために設置した会計です。全ての会計で黒字となり、特別会計の全体収支は26億7,876万円でした。住宅新築資金等貸付事業は令和4年度で廃止し、一般会計に移行しました。

◎財政課（☎0942・30・9117、FAX0942・30・9703）

公営企業会計
計画的な施設更新を実施

水道事業は、古くなった浄水施設の更新や配水管の耐震化など、安全で良質な水を供給できる体制を強化。下水道事業は、処理場やポンプ場などの長寿命化対策や、雨水貯留施設の築造などの豪雨対策に取り組みました。

◎上下水道部経理課（☎0942・30・8506、FAX0942・30・8570）

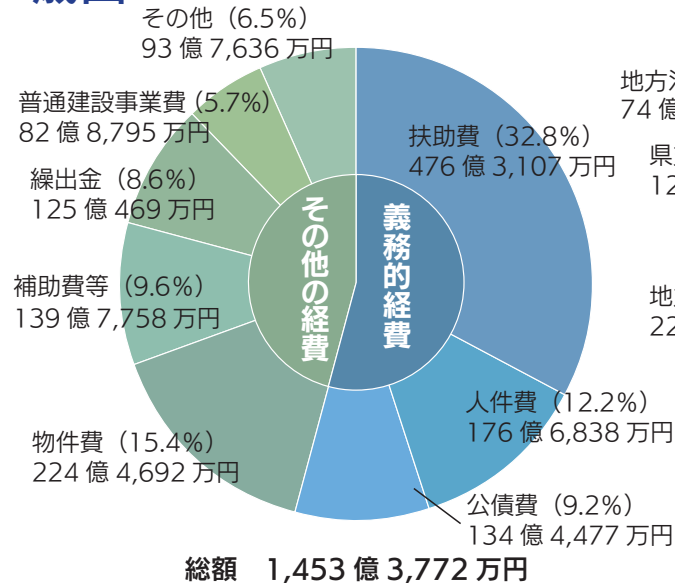


令和4年度決算報告

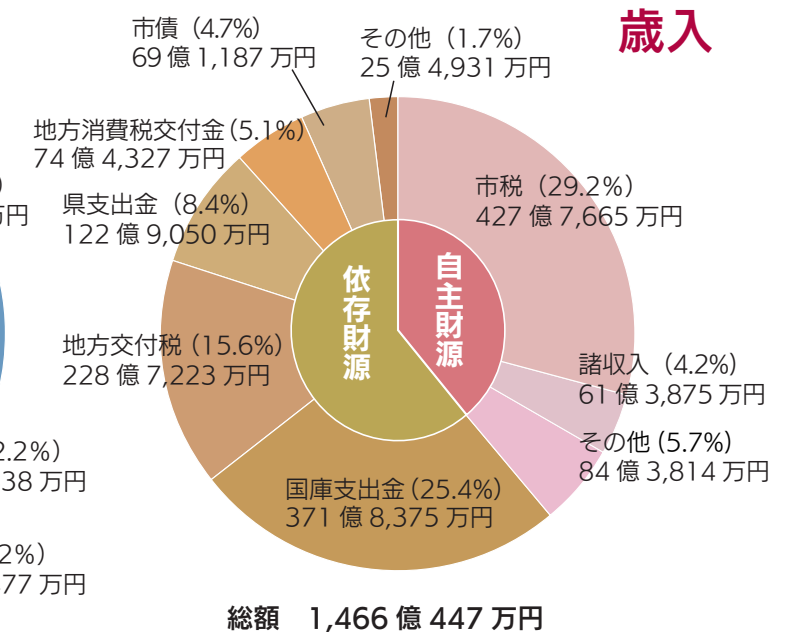
まちを伸ばし、暮らしを守る

令和4年度の一般・特別・公営企業会計の決算議案は、10月18日に会期末を迎えた市議会で認定されました。決算状況と主な取り組みを報告します。

歳出



歳入



一般会計

課題に速やかに対応

令和4年度は、近年続く大雨災害から市民の暮らしを守るための防災・減災対策やウイズコロナ・アフターコロナ社会を見据えたまちづくりに重点的に取り組みました。一方で、新型コロナウイルスの影響が続く中、物価高騰が追い打ちをかけ、市民生活や事業活動にとって厳しい状況が続きました。こうした状況に速やかに対応するため、7回の補正予算を編成しました。一般会計の歳入は、146億6,447万円、令和3年度から約12億円、7.1%の減少。歳出は、145億3,377万2千円で、約1億3,000万円の減少となりました。歳入歳出ともに減少に転じたのは、新型コロナウイルスの影響を受けた子育て世帯や事業者への支援が前年度までにピークを越えたためです。歳入から歳出を差し引くと12億6,675万円、令和5年度への繰り越しを除いた実質収支は、8億6,969万円のプラスになりました。

市債・基金の残高

市債の残高は約131.3億円で、前年度より約61億円減少しました。新たな借入れが減少するとともに、過去に借入れられた市債の返済が進んだためです。

家庭の預貯金に当たる基金残高は、令和4年度末で約234億円。ふるさと久留米応援基金に積立を行ったこともあり、前年度から約12億円増加しました。

◎財政課（☎0942・30・9117、FAX0942・30・9703）



水の祭典も3年ぶりに開催されました

11月 イベントカレンダー

月	火	水	木
		1 広報紙発行日 人権セミナー 出生前診断 えーるピア久留米 ☎30-7970	2 ランチタイムコンサート 六角堂広場 ☎33-2271
		だるまさんの手形・足形アート 児童センター ☎35-3809	お誕生会 くるるん ☎34-5571
6 ふれあいベビーマッサージ くるるん ☎34-5571	7 さかなつりあそび 児童センター ☎35-3809	8 ライブラリーシネマ「ストリートオーケストラ」 中央図書館 ☎38-7116	9 赤ちゃんサロン 児童センター ☎35-3809
		大きくなったかな 児童センター ☎35-3809	
		センターであそぼう 児童センター ☎35-3809	
13 「デザート・フラワー」上映会 えーるピア久留米 ☎30-7800	14 こんにゃく作り体験 ふれあい農業公園 ☎47-6065	15 小児科医による育児なんでも相談 くるるん ☎34-5571	16 女性のためのワード・エクセル基礎講座 えーるピア久留米 ☎30-7800
		はじめてのベビーマッサージ くるるん ☎34-5571	ベビーマッサージ講習会 ゆうゆう ☎65-1200
		西部示現会展 (11/19まで) 市美術館 ☎090-9587-0925	カレンダー製作 くるるん ☎34-5571
		炎症性腸疾患の子を持つ家族の集い 久留米総合庁舎 ☎0944-69-5405	
20 シティプラザ休館 ふれあいベビーマッサージ くるるん ☎34-5571	21 シティプラザ休館 ギョーザも作るよ 基本料理講座 中級 えーるピア久留米 ☎30-7900	22 みそ作り教室 ふれあい農業公園 ☎47-6065	23 勤労感謝の日 ベビーとゆっくりヨガ 児童センター ☎35-3809
		もみじまつり (12/3まで) 石橋文化センター ☎33-2271	mama プラス部心音ファミリーコンサート 筑邦市民センター ☎090-7538-7726
		しんぶんしでかみふぶき 児童センター ☎35-3809	くるめジュニア音楽祭 六角堂広場 ☎090-9606-0992
		子育てセミナー クリスマスカード くるるん ☎34-5571	
27 男性のための電話相談 ☎080-6787-6172	28 着物の着付け (11/29まで) えーるピア久留米 ☎30-7900	29 子育てスマイル講座 才能発見 北野生涯学習センター ☎78-2308	30 高齢者向け無料相談 みんくる ☎090-7443-3708
		ふれあいベビーマッサージ くるるん ☎34-5571	手作りパン教室 ふれあい農業公園 ☎47-6065
		誕生会・パネルシアター 児童センター ☎35-3809	
		高良山歴史ウォークもみじ狩 ☎0943-73-0416	みんなで唄おう懐メロの集い えーるピア久留米 ☎30-7900

見やすいところに貼って活用してください。



詳細は
久留米市公式ホームページ 検索

イベントや市役所の窓口情報をお知らせします。
久留米広域連携中枢都市圏や筑後川流域クロス
ロード協議会を構成する市町のイベントも掲載

金	土	日
3 文化の日 秋のバラフェアとアートフェスティバル (11/19まで) 石橋文化センター ☎33-2271	4 ふるさとの唄 野田かつひこコンサート 文化センター共同ホール ☎64-5791	5 秋の実り収穫祭 大木町・道の駅おおき ☎0944-75-2150
てくてくウォーキング 筑後川サイクリングロード ☎21-8300		自転車だけじゃない!
一の瀬焼秋の陶器まつり (11/5まで) うきは市・各窯元 ☎0943-77-2564	10 イベント情報 LINE 配信日 らっこくらぶ 各地域子育て支援センター ☎65-2255	12 サイクルファミリーパークフェスタ サイクルファミリーパーク ☎45-5656
女性の就職応援セミナー えーるピア久留米 ☎30-7800	11 リサイクル宝の市 (11/19まで) 宮ノ陣クリーンセンター ☎27-5361	マナビランド えーるピア久留米 ☎38-2258
離乳食相談 くるるん ☎34-5571	マイナンバーカード出張申請受付 (11/12まで) ゆめタウン久留米 ☎30-9229	ひふの日 記念市民公開講座 シティプラザ ☎31-7571
絵本を楽しむ 児童センター ☎35-3809	フリーマーケット七夕市 小郡市・イオン小郡 ☎72-4008	大木さるこいフェスタ 大木町・クリークの里 石丸山公園 ☎0944-32-1047
	古木の紅葉とライトアップ (11/12まで) 鳥栖市・大山祇神社 ☎85-3605	
17 おゆずり会 児童センター ☎35-3809	18 スイーツ講座 柿のパフェ風ムース ケーキ 田主丸保健センター ☎0943-74-4000	19 サンデーリサイクル 宮ノ陣クリーンセンター ☎30-9143
にこにこリズム くるるん ☎34-5571	城島郷 酒街道をゆく 城島町などの参加蔵元、協賛店 ☎62-2115	お茶を楽しむ会 青木繁旧居 ☎39-3575
	市民公開講座 在宅療養と人生会議 久留米医師会館 ☎34-4163	古賀政男生誕祭 大川市・古賀政男記念館 ☎0944-86-4133
	さつまいも収穫体験 ふれあい農業公園 ☎47-6065	
24 みんなでおしゃべり会 くるるん ☎34-5571	25 イベント情報 LINE 配信日 城島郷 酒街道をゆく 城島町などの参加蔵元、協賛店 ☎62-2115	26 仕切りごと横に動いて広がるよ 親子で工作教室 スライド本立て えーるピア久留米 ☎30-7900
いもほりごっこおしゃべり会 児童センター ☎35-3809	なるほど人権セミナー 障害者アート 宮ノ陣クリーンセンター ☎30-7970	知って防ごう慢性腎臓病 道の駅くるめ ☎30-9033
	くるめ健康のびのびウォーク ふれあい農業公園 ☎092-711-5050	小学生ドローン体験教室 えーるピア久留米 ☎30-7900
	在住外国人によるパネルディスカッション えーるピア久留米 ☎080-3962-7126	市民公開講座 心臓と血管のはなし 久留米大学筑水会館 ☎31-7580
12/1 広報紙発行日	2 家族介護教室 高齢者に優しい食事 えーるピア久留米 ☎35-1525	3 人権講演会 自分を信じて 大刀洗町・大刀洗ドリームセンター ☎77-2670
日本盆栽育樹展 (12/3まで) 久留米リサーチパーク ☎090-1368-8705	資生堂ジャパン メンズビューティーアップ講座 田主丸保健センター ☎0943-74-4000	リズムジャンプ体験会 北野生涯学習センター ☎78-2308



久留米ゆかりの「第九」演奏会

12月3日(日)シティプラザで「久留米第九2023」を開催します。大正8(1919)年の同日、市に収容されていたドイツ兵捕虜がベートーベンの「第九」を演奏。市民が初めて聴いたといわれています。チケット情報などは市ホームページで確認を。
◎文化振興課 (☎30-9224、FAX 30-9714)



第九初演100周年を記念し、約2300人が歌声を響かせた前回は...

久留米市役所 問い合わせ先	
■本庁(代表) ☎30-9000、FAX 30-9706	■耳納市民センター ☎47-0099、FAX 41-5107
■北野総合支所 ☎78-3551、FAX 78-6482	■筑邦市民センター ☎27-0099、FAX 51-3107
■城島総合支所 ☎62-2111、FAX 62-3732	■上津市民センター ☎21-0099、FAX 51-2107
■三潁総合支所 ☎64-2311、FAX 65-0957	■高牟礼市民センター ☎45-0099、FAX 41-1107
■田主丸総合支所 ☎0943-72-2111、FAX 0943-72-3819	■千歳市民センター ☎44-0099、FAX 41-1207



令和4年度の決算審査結果などを公表

事業の重点化・選択で歳出削減を

監査委員は、令和4年度の久留米市の一般会計・特別会計、公営企業会計の決算の審査を行いました。併せて財政健全化法に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の審査、行政監査を行いました。
◎監査委員事務局 (☎0942・30・9232、FAX 0942・30・9718)



監査委員が原口新五市長(右)に審査結果の報告を行いました

決算審査の結果

各会計の決算の計数が正確か、会計処理や予算執行が適正かなどについて審査しました。主な意見は次のとおりです。

◆【一般会計・特別会計】
経常収支比率は、人件費等の増加で前年度に比べ悪化している。地方公共団体の財政力を示す財政力指数も同様である。今後の人口減少等による市税収入の減少や超高齢化等

による扶助費の増加、公共施設の老朽化による改修費等の増加が見込まれ、事業の重点化や選択による歳出削減の取組みは喫緊の課題である

◆事務の理解不足により、弁償金の収入未済額の減額や削除、使用料等の調定漏れなど誤った事務処理が行われていた
◆財産に関する調書について、令和3年度に引き続き、年度末現在高の数値が誤っていた。市有財産を表す重要な数値であるため、正確性を担保できるチェック体制を構築し、再発防止策を早急に講じること

【公営企業会計】

◆チェック機能などの内部統制強化に真摯に取り組むこと
◆水道事業について、将来の需要を見極めつつ、持続可能な投資計画等を立案し、経営基盤強化に取り組むこと
◆下水道事業は、経営の健全化を図る観点から、一般会計からの繰入金の適切な額の確保について、令和5年度中に方針を示す

こと。下水道未普及地域への整備計画の見直しに当たっては、詳細な経営分析に基づく収支シミュレーションを複数作成して検討すること

財政健全化法に基づく審査結果

おおむね適正に算定されていたが、一部事務処理に誤りがあった。引き続き、財政及び経営の健全性確保に努めること。

行政監査結果

市が保有する備品について、監査を行いました。主な意見は次のとおりです。

◆備品台帳と現物の状況が一致しない事例が多数見られた。貴重な市の財産である備品を、効果的かつ適正に管理できるよう、定義や管理手法を見直し、指針を示すこと

監査や審査の結果は、本庁舎地下1階行政資料コーナーや市ホームページで公開しています



11月は秋のこどもまんなか月間

子どもたちが健やかに成長する権利を守る

こども家庭庁は、毎年11月を「秋のこどもまんなか月間」として、児童虐待防止のための啓発活動を行っています。

こども基本法が制定

今年4月に「こども基本法」が施行されました。同法の趣旨は、全ての子どもが将来にわたって幸福な生活を送ることができるよう社会の実現です。

子どもの権利を侵害することは、親であっても許されません。しかし「しつけのためなら子どもをたたくことはやむを得ない」という意識が今も根強くあります。令和4年の児童福祉法などの改正により、体罰だけでなく暴言などで子どもの心を傷つける行為は法律で禁止されました。罰として食



昨年は、ゆめタウン久留米で虐待防止を呼び掛けました

肯定的な言葉で声を掛ける

子どもに考えを聞いて、どうしたらよいか一緒に考えましょう
【子育ての工夫ポイント】
■子どもの気持ちや考えを聞く

事を与えない、子どもを無視する、子どもの目の前で配偶者に暴力を振るうなど苦痛や不快感を与えることは児童虐待であり、子どもの成長・発達に悪影響を与えます。体罰などによらない子育てを意識していくことが大切です。

してほしい行動を子どもに具体的に伝えましょう

■成長・発達に合わせた対応をする
今できていることに目を向けましょう

【いつい、できていることを具体的に褒める】

何かできたときは頑張りを認め、いっぱい褒めましょう

一人で悩まず相談を

子育て中は、育児疲れや子育てへの不安からストレスを抱えやすくなります。誰かに話を聞いてもらうだけで気分が楽になることも。悩んだときは、気軽に相談してください。

◎家庭子ども相談課 (☎0942・30・9208、FAX 0942・30・9718)

児童虐待についての相談

周りに心配な子どもがいるときは迷わず連絡

児童相談所虐待対応ダイヤル
☎189 (通話料無料)

住んでいる地域の児童相談所につながり、匿名でも受け付けます。秘密は守ります

【久留米児童相談所】

☎0942・32・4458、FAX 0942・32・4459

子育ての悩みについての相談

【こども子育てサポートセンター】

☎0942・30・9302、FAX 0942・30・9718

【家庭子ども相談課】

☎0942・30・9208、FAX 0942・30・9718

DVや家庭問題についての相談

【家庭子ども相談課】

☎0942・30・9063、FAX 0942・30・9718



シリーズ 今、気づき、じんけん

共に生きる 34

犯罪被害者に寄り添う支援を

11月25日から12月1日は「犯罪被害者週間」です。弁護士として犯罪被害者支援に尽力している由良清香さんに、被害者の人権について聞きました。

弁護士としての支援

司法修習生時代、受け入れ先の事務所の弁護士に、被害者の支援に関する会議や、被害者との面談などに立ち会わせてもらっていました。これを機に私自身も関心を持つように。弁護士2年目のとき、未成年の女性が性被害に遭った事案を受け持ちました。当時、その子はショックのあまり心を閉ざしていました。「話して」と言うわけにもいかず、まずは手紙のやりとりから始めて関係性を築くことに。彼女が徐々に心を開いてくれ、犯人には重い実刑が下されました。

一人じゃないと思えるように

被害者は孤立しがちです。その結果、自分を責めたり、なお一層ストレスをためたりして心の

「相談に応じて、必要な支援を提案します」と語る由良さん



由良清香さん

りぼん法律事務所の弁護士。福岡県弁護士会犯罪被害者支援に関する委員会副委員長を務める。犯罪被害者支援をはじめとしたさまざまな事案を取り扱う

調子を壊してしまいます。気持ちを聞いてほしい人、そっとしておいてほしい人、人によって求めていることはさまざまです。被害者への支援は、警察をはじめ、検察庁や弁護士会、医療機関、行政などが連携しながら行います。何を求めているのかを見極め、一人じゃないと思ってもらえるような支援が大切です。

「こんなことで弁護士に相談していいのかわからない」と考え、電話を掛けることをためらう人もたくさんいます。本人は小さいことと思っても、私たち弁護士からすると実は重大な問題であることも珍しくありません。被害者が求める支援と、本当に必要な支援が合っていないこともよくあります。だからこそ、困り事があるときはためらわず、まずは相談してください。

寄り添い、支え合う社会に

「自分は犯罪とは無縁だ」。誰しもがそう思います。だからいざ自分が被害者になったとき、どうしたらいいかわからない。犯罪被害者の気持ちがどれほどのものか想像できず、あたかも被害者が悪いかのような、心ない言葉を掛けてしまうことがあるのだと思います。ただでさえダメージを受けている被害者にとって、そのたった一つの言葉は凶器にもなるんです。相手の気持ちに寄り添い、支え合う社会を作っていきたいですね。

安全安心推進課

(☎ 0942・30・9094、FAX 0942・30・9706)



オレンジ&パープルツリーを設置し、暴力根絶に向けて普及啓発します

パープルリボン キャンペーンを展開

「女性に対する暴力をなくす運動」11月12日～25日



11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」です。内閣府は11月12日から25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間と定めています。DV（ドメスティックバイオレンス）配偶者や恋人などからの暴力や性暴力、ストーカー行為などは、個人の尊厳を害する重大な人権侵害です。久留米市は、女性に対する暴力

根絶を象徴する「パープルリボン」と、児童虐待防止の象徴である「オレンジリボン」を併せたキャンペーンを実施します。

◆オレンジ&パープルツリーの設置
JR久留米駅東西自由通路
11月1日から12日(日)まで

■久留米シティプラザ2階連絡通路
11月14日(火)から27日(月)まで

このほか、西鉄久留米駅や市内の大学、ゆめタウン久留米などにパープルツリーを設置します

◆パープルライトアップの実施
久留米シティプラザの六ツ門テラスシンボルツリーと2階連絡通路を紫色にライトアップします。11月14日(火)から27日(月)まで

☎男女平等政策課 (☎ 0942・30・9044、FAX 0942・30・9703)



安全安心まちづくり
セーフコミュニティ
国際認証都市 久留米



セーフコミュニティシリーズ⑨ 高齢者の転倒予防



セーフコミュニティシリーズは今号が最終回です

転ばない体と住環境づくり

高齢者のけがは、介護が必要な状態になる原因の一つです。半数は転倒によるもの。筋力の衰えだけでなく、発生しやすい生活環境によって起こります。

転ばない体づくりや住環境づくりが大切です。散歩や体操などの運動に取り組むほか、玄関マットをしっかり固定したり、階段に手すりを設置したりするなどの転倒予防に取り組みましょう。

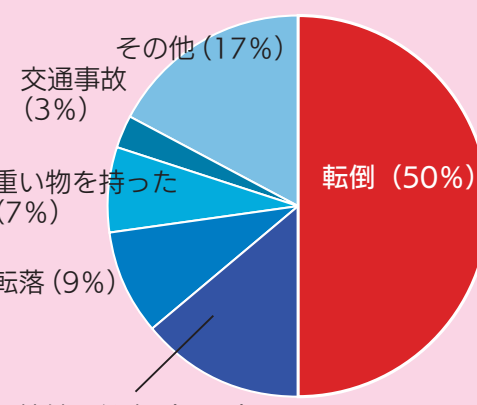
すぐにできる予防策

☑ ステップ運動で足腰を鍛える

高さ10～20cmほどの踏み台で、左右の足を入れ替えながら上下りを繰り返す

☑ 滑らないように床の物を片付ける

■高齢者がけがをした原因 (65歳以上、負傷者95人)



出典：久留米市セーフコミュニティ実態調査 (令和3年)

☎長寿支援課 (☎ 0942・30・9038、FAX 0942・36・6845)

外国人のための無料相談会
 ■内容在留資格、労働問題の悩みなどに行政書士や弁護士、社会保険労務士が対応。多言語通訳サービスあり ■11月18日(出) 13時～16時
 ■みんくる ■申込締切11月17日(金)
 ㊟広聴・相談課 (☎30・9096、FAX 30・9711)

成年後見無料相談会
 ■内容財産管理、生活の悩みに社会福祉士や行政書士などが対応 ■11月25日(出)、12月23日(出)。各13時～16時 ■みんくる ■対象高齢者や障害のある人、親族など ■申込方法申込先に連絡
 ㊟権利擁護支援センターふれあい会の辻さん (☎080・1766・3040、FAX 35・2744)

司法書士・税理士による相続合同相談会
 ■内容相続の法律、税務の悩みに対応 ■12月9日(出) 13時30分～16時30分 ■石橋文化会館
 ■料金無料 ■定員12組・先着順 ■申込期間11月20日(月) 10時～12月1日(金)
 ㊟県司法書士会筑後総合相談センター (☎32・6840、FAX 32・6394)

編集後記
 ・広報紙作りに携わるようになって7カ月。長かった夏も終わり、秋の気配を感じるようになってきました。そうかと思ったら、もう12月号や1月号の特集ページをどうしようかと悩んでいます。1～2カ月先の原稿を書いているので、たまに今が何月なのか分からなくなります。さて、12月号に載せる今年のニュースはどうしよう。(陽)

11月3日(祝)

内科	みい駅前まわり内科	御井町	41-8881
	久留米中央病院	小森野	35-1000
	内藤病院	西町	32-1212
	安本病院	三瀬町	64-2032
	田中医院	うきは市	0943-77-2443
外科	内藤病院	西町	32-1212
	高木病院	大川市	0944-87-0001
	浮羽クリニック	うきは市	0943-77-7111
小児科	福田こどもクリニック	宮ノ陣	46-6000
	くどうこどもクリニック	小郡市	75-9100
眼科	杉田眼科医院	国分町	22-2020
耳鼻科	ヤタケ耳鼻咽喉科医院	南	21-6924
歯科	大石歯科クリニック	御井町	44-0014
産科	空の森 KYUSHU	天神町	46-8866

11月5日

内科	いのくち医院	国分町	21-4662
	小坪内科・消化器内科	野中町	32-9768
	西村医院	長門石	32-8712
	富田病院	城島町	62-3121
	児玉医院	大川市	0944-86-2373
	重富外科医院	梅満町	32-0707
外科	神代病院	北野町	78-3177
	福田病院	大川市	0944-87-5757
	原鶴温泉病院	うきは市	0943-75-3135
小児科	いむた小児科	諏訪野町	30-7611
	小児科豊田医院	うきは市	0943-75-2200
眼科	久留米大塩眼科クリニック	津福本町	36-8200
耳鼻科	わたなべ耳鼻咽喉科医院	大善寺南	26-8711
歯科	きたしま歯科・矯正歯科クリニック	東町	33-1836
泌尿科	宮原泌尿器科クリニック	大木町	0944-33-2424
産科	福井レディースクリニック	津福本町	39-2288

全日曜、祝日

外科	聖マリア病院	津福本町	35-3322
外科	新古賀病院	天神町	38-2222
内科・外科	嶋田病院	小郡市	72-2236

※診療時間や災害時の閉鎖は各医療機関に問い合わせてください
 ※医療機関が変わる場合があります。変更は市ホームページ「日曜在宅医」で確認してください

11月12日

内科	藤吉内科消化器科医院	大善寺南	51-3007
	花畑病院	西町	32-4565
	原田内科医院	国分町	22-1151
	安本病院	三瀬町	64-2032
	吉村医院	三瀬町	64-2443
	中野内科医院	田主丸町	0943-72-2827
外科	たがみ医院	青峰	43-1188
	高木病院	大川市	0944-87-0001
	田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
小児科	日吉いのうえ小児科	日吉町	36-0633
眼科	久留米おの眼科医院	東町	46-7724
	木下総合歯科眼科	大川市	0944-85-0600
耳鼻科	はかたみち耳鼻咽喉科	東瀬原町	38-0801
歯科	木原歯科医院	野中町	36-0694
産科	とみおかレディースクリニック	中央町	39-6678

11月19日

内科	アルカディアクリニック	宮ノ陣	33-8877
	ファミリークリニック陽なた	梅満町	36-5050
	久留米南病院	荒木町	26-0100
	新古賀リハビリテーション病院みらい	小郡市	73-0011
	富田病院	城島町	62-3121
	平井内科医院	うきは市	0943-75-2387
	浅倉整形外科医院	小頭町	34-0150
外科	福田病院	大川市	0944-87-5757
	高宮クリニック	大川市	0944-86-2812
	宮崎整形外科	田主丸町	0943-72-1000
小児科	おおぶ小児科	諏訪野町	33-2551
皮膚科	上野医院	城島町	62-3156
眼科	実吉眼科医院	天神町	37-3111
耳鼻科	しろうず耳鼻咽喉科クリニック	諏訪野町	36-3387
歯科	小柳歯科医院	南	22-8818
産科	田崎クリニック	長門石	33-7227

11月23日(祝)

内科	井上クリニック	本山	51-0050
	俣野内科医院	梅満町	32-5710
	つむらファミリークリニック	高良内町	43-9720
	安本病院	三瀬町	64-2032
	筑後川温泉病院	うきは市	0943-77-7251
外科	ひまわりAクリニック	宮ノ陣	30-2030
	高木病院	大川市	0944-87-0001
	筑後川温泉病院	うきは市	0943-77-7251
小児科	つむらファミリークリニック	高良内町	43-9720
眼科	石川眼科医院	荘島町	34-1881
耳鼻科	ふじたクリニック	長門石	38-2816
歯科	べっぶ歯科医院	合川町	39-6293
産科	新古賀病院	天神町	38-2222

【新型コロナ】
 発熱などの症状が出たら
市新型コロナ相談センター 24時間対応
 ☎0942・30・9750 FAX 0942・30・9833
 ワクチン接種予約・変更
コールセンター 8時30分～17時30分
 ☎0120・567・981 FAX 092・712・8285

11月26日

内科	池尻医院	大善寺町	26-2427
	野原内科循環器科医院	蛸川町	32-2969
	つつみ内科医院	御井町	44-0941
	富田病院	城島町	62-3121
	ハイジア内科	三瀬町	55-9550
	田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
	田山メディカルクリニック	津福本町	34-0021
外科	神代病院	北野町	78-3177
	福田病院	大川市	0944-87-5757
	田主丸中央病院	田主丸町	0943-72-2460
小児科	井上医院	梅満町	32-3064
眼科	鶴丸眼科医院	筑後市	52-0002
耳鼻科	富田耳鼻咽喉科医院	朝倉市	0946-22-2415
歯科	中村歯科医院	荒木町	27-2248
産科	河田産婦人科	梅満町	32-2502
	本村産婦人科医院	大川市	0944-86-3603

12月3日

内科	香月内科ハートクリニック	善導寺町	47-1036
	愛康内科医院	南	21-5556
	田中循環器科内科医院	京町	35-7378
	かわち内科循環器科医院	小郡市	41-2244
	安本病院	三瀬町	64-2032
	矢野医院	うきは市	0943-75-2859
	小野整形外科	東町	46-1122
外科	神代病院	北野町	78-3177
	高木病院	大川市	0944-87-0001
	ひさしたかし整形外科クリニック	大川市	0944-87-5539
	鳥越胃腸科外科医院	うきは市	0943-75-4185
小児科	きむらアレルギー・こどもクリニック	野中町	40-7700
	原口医院	城島町	62-3329
眼科	つる眼科	善導寺町	47-3678
耳鼻科	耳鼻咽喉科 伊東医院	柳川市	0944-72-2557
歯科	つやま歯科・口腔外科医院	藤山町	65-9082
産科	翁産婦人科医院	諏訪野町	46-8181

※青字の医療機関では、市の各種健診やがん検診などが受診できます。受診できる検診項目は各病院へ直接問い合わせてください

【夜間・休日の子どもの急な病気やケガで心配なとき】
小児救急医療電話相談
 ■平日 19時～7時、土曜は12時から
 日曜・祝日は24時間受け付け
 ■プッシュ回線#8000 ☎092・731・4119

【救急車を呼ぶか、病院に行くか迷ったとき】
 24時間受け付け**救急電話相談・医療機関案内**
 ■プッシュ回線#7119 ☎092・471・0099

休日当番薬局は久留米三井薬剤師会ホームページへ

庭木1本から承ります! 早く! きれいに! お得に! 広告

お客様との
お約束
庭木1本より明瞭料金
トイレはお借りしません
土日もOKです
お茶はご遠慮します

広報久留米を
ご覧の方へ
生垣剪定 長さ1m×高さ2m
通常 2,200円を ※税込
先着10名様 1,100円

お見積り・お問い合わせは ☎電話もしくは2次元コードから
1本からの
お庭サービス **ガーデンエクステル** ☎0120-61-4128
【福岡博多店】福岡市博多区諸岡6-23 【久留米店】久留米市草野町矢作286 【久留米筑前店】朝倉郡筑前町新町349

営業時間 9:00～17:00

「情報ほっとライン」は裏表紙から始まります

養育費セミナー・個別相談会
内容養育費の取り決め方や手続きなどの講話と個別相談 ■12月10日(日)①セミナー10時～12時、②個別相談会13時30分～16時30分 ■えーるピア久留米 ■対象ひとり親家庭、子どもがいて今後離婚を考えている人 ■料金無料 ■定員①35人、②6人・先着順 ■申込期間11月8日(水)8時30分～12月1日(金) ■申込方法電子申請
 ㊤家庭子ども相談課 (☎30・9063、FAX 30・9718)

プロに学ぶ家族介護教室
【高齢者に優しい食事】内容調理実習 ■12月2日(土)10時～13時 ■料金500円 ■申込締切11月22日(水)
【はじめての介護保険制度】12月16日(土)10時～12時 ■料金無料 ■申込締切12月6日(水)
 いずれも会場はえーるピア久留米。対象は家族を介護している人、介護に備えたい人など。定員は各15人・選考。
 ㊤市介護福祉サービス事業者協議会 (☎35・1525、FAX 46・5841)

障害者ふれあいスポーツボウリング大会
内容障害別に分かれて競技。1人2ゲーム ■12月17日(日)10時～13時 ■楽市ぼうる210久留米店 ■対象身体障害のある人と家族 ■料金無料 ■定員90人・先着順 ■申込期間11月8日(水)10時～30日(水)
 ㊤市身体障害者福祉協会 (☎39・2666、FAX 38・9290)

女性のための相談
【総合・性暴力相談】内容DV、夫婦問題、性被害、労働、職場での悩みなどに電話、面接で女性相談員が対応 ■月～水・金・土曜10時～18時。木曜17時～20時。日曜10時～17時
【無料弁護士相談】内容夫婦問題などの悩みに面接で女性弁護士が対応 ■12月14日(水)、28日(水)、各14時～15時30分。12月21日(水)17時30分～19時
 いずれも会場はえーるピア久留米。面接相談は申込先に連絡。託児の申込締切は相談日の5日前。
 ㊤男女平等推進センター (☎30・7802、FAX 30・7811)

来年1月10日(水)。各10時30分～15時 ■みんくる ■申込方法申込先に連絡
 ㊤NPO法人ワンストップリーガルネット (☎080・3962・7126、FAX 80・6337)

身体障害のある人のための無料相談
内容身体障害者手帳の取得や、障害の悩みに身体障害者相談員が対応 ■11月8日(水)、15日(水)、12月6日(水)。各13時～16時 ■市総合福祉会館 ■対象障害のある人と家族 ■申し込み不要
 ㊤障害者福祉課 (☎30・9035、FAX 30・9752、✉fukushi@city.kurume.lg.jp)

行政書士の暮らしの無料相談
内容相続、遺言、成年後見などの悩みに対応 ■申込方法申込先に連絡
【みんくる】11月10日(金)、12月1日(金)、来年1月5日(金)。各10時30分～12時30分
【田主丸保健センター】11月14日(水)、来年1月9日(水)。各13時30分～15時30分
【コスモすまいる北野】11月22日(水)、来年1月18日(水)。各13時30分～15時30分
【ゆうゆう】12月21日(水)13時30分～15時30分
 ㊤県行政書士会くるめ支部の廣沢さん (☎050・5369・0783、FAX 70・9082)

日曜労働相談会
内容解雇や賃金不払い、パワハラなどの悩みに電話、面接で対応。相談内容により弁護士と連携 ■11月19日(日)10時～18時。受け付けは17時30分まで ■筑後労働者支援事務所 ■料金無料 ■申し込み不要
 ㊤同事務所 (☎30・1034、FAX 30・1025)

12月分 市民相談のご案内

●本庁舎 6階

一般・市政相談	8:30～17:15	平日
★弁護士相談	13:00～16:00	6日(水) 13日(水) 27日(水)
★公証業務相談	13:00～15:00	20日(水)
★司法書士相談	13:00～16:00	14日(水)
★建築相談	13:00～16:00	7日(水)
★税理士相談	13:00～16:00	4日(水)
★交通事故相談	10:00～15:00	12日(水) 26日(水)
★出入国管理局相談	13:00～15:00	7日(水)
不動産相談	13:00～16:00	11日(水) 25日(水)
行政相談	13:00～16:00	15日(水)
人権相談	13:00～16:00	8日(水)
行政書士相談	10:00～15:00	5日(水)
社会保険労務士相談	10:00～15:00	1日(水)
土地家屋調査士相談	13:00～16:00	28日(水)
マンション管理士相談	13:00～16:00	22日(水)

●総合支所

	田主丸	北野	城島	三潨
★一般相談 10:00～16:00	21日(水)	7日(水)	28日(水)	11日(水)
★弁護士相談 13:30～15:30	1日(水)	18日(水)	14日(水)	26日(水)
行政相談 13:00～16:00	15日(水)			
人権相談 13:00～16:00	8日(水)	8日(水)	—	8日(水)

●市民センター

	耳納	筑邦	上津	千歳	高牟礼
★一般相談 10:00～16:00	5日(水)	12日(水)	19日(水)	25日(水)	22日(水)
★弁護士相談 14:00～16:00	—	—	20日(水)	—	—
行政相談 13:00～16:00	—	15日(水)	—	—	—
人権相談 13:00～16:00	—	8日(水)	—	8日(水)	8日(水)

★印の付いた相談は申し込みが必要。先着順で、申込開始は11月8日(水)8時30分。相談日を指定できる、無料のチケット弁護士相談も行っています。
 ㊤広聴・相談課 (☎30・9017、FAX 30・9711)

消費生活無料法律相談
内容多重債務・悪質商法などの悩みに弁護士が対応 ■12月6日(水)、20日(水)。各13時～15時30分 ■えーるピア久留米 ■対象市内に住んでいる人 ■申込方法申込先に連絡
 ㊤消費生活センター (☎30・7700、FAX 30・7715)

暮らしの無料相談
内容相続などの悩みに公証人とワンネット相談員が対応 ■11月8日(水)、12月13日(水)、

25歳～60歳(女性)の方にお願いしています。

KUMON 広告

くもん書写教室の先生になりませんか

教室開設説明会(10:00～12:00) ※参加費無料
久留米 11/21(火) 久留米ホテル エスプリ 13階
 『カンファレンスルーム2』
 当日、ご都合の悪い方はご相談ください。

指導者養成プログラムで未経験でも安心!

ペン習字 かきかた 筆ペン 毛筆

公文エルアイエル ☎0120-410-297
 福岡市博多区博多駅前1-13-1 7F

公文書写先生 検索

家族のお葬式 お葬式のことなら、安心価格の「民生館」。

社会福祉法人 大牟田市福祉事業協会 久留米事業部 **「民生館」**

式場見学会開催中 無料事前相談も承っています 11万円より(税込)

社会福祉法人 大牟田市福祉事業協会久留米事業部 総合葬祭 **民生館久留米斎場** 久留米市津福今町680-2 ☎0942-36-6699

コンビニ交付サービスの停止
メンテナンスのため、一部サービスの利用ができません。

【所得証明書】11月18日(出)18時～20日(月)12時
【戸籍証明書】11月19日(日)
◎市民課 (☎ 30・9747、FAX 30・9758)

第6回市議会を開催
議事の内容などは、市ホームページ内「久留米市議会」に掲載します。

■定例会 11月29日(水)～12月19日(火) ■一般質問 12月7日(水)～12日(火) ■常任委員会 12月13日(水)、14日(木)
◎議会事務局 (☎ 30・9305、FAX 30・9720)

がん患者の医療用ウィッグ・補整具などの購入費用を助成

がんによる外見の変化に伴う、医療用ウィッグや補整下着などのサポート用具の費用を一部助成します。
■対象用具令和5年4月1日以降に購入した①医療用ウィッグ、装着用ネット、毛付き帽子、②補整

パッド、専用入浴着、弾性ストッキングなど ■助成額費用の半額。上限①2万円、②1万円。各1回のみ。申込書は申込先、市ホームページに準備
◎健康推進課 (☎ 30・9729、FAX 30・9833)

HIV・梅毒夜間即日検査
12月1日(金)16時～20時 ■保健所 ■料金無料 ■定員40人・先着順 ■申込開始11月8日(水)8時30分 ■申込方法電話、ファクス、電子申請
◎保健予防課 (☎ 30・9730、FAX 30・9833)

12月のシニア向けスマホ教室
■内容電話のかけ方、カメラの使い方など
12月5日(水)・三潨生涯学習センター。7日(木)・えーるピア久留米。21日(水)・筑邦市民センター多目的棟。各10時～12時、14時～16時
■対象市内に住んでいる65歳以上の人 ■料金無料 ■定員各20人・先着順 ■申込期間11月20日(月)10時～30日(水)
◎ティーガイア (☎ 070・3323・8998、✉ kurume.tgia@gmail.com)



広報クイズ 正解者の中から抽選で5人に図書カードを差し上げます。

久留米市が参加を呼び掛けている「オレンジ協力隊」はどんな人を見守り支える団体でしょう。○に漢字を入れてください。

10月号の答え → ジャズ

【申込締切】11月20日(月)(必着)
【申込方法】答え、住所、氏名、年齢、電話番号、紙面への要望や意見をはがき、メール、電子申請で連絡。複数の応募は不可。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます
◎広報戦略課 (〒830-8520 住所記入不要、✉ kouhou@city.kurume.lg.jp)



4～5ページに関連の記事があります

シルバーパソコン教室
■内容①入門、②チラシ作り、③表計算、各3回。④希望テーマの個別指導、1回 ■12月5日から27日までの火曜、水曜①②10時～12時、③④13時～15時 ■市シルバー人材センター ■対象パソコンを持参できる60歳以上の人 ■料金①～③4,500円 ④2,000円 ■定員①～③各4人、④各週1組・抽選 ■申込締切11月24日(金)
◎同センター (☎ 35・5229、FAX 35・5974)

ゆっくり学ぶスマホ教室
■内容基本操作、Wi-Fi、写真の送り方など
12月21日から来年3月21日までの第3木曜。各14時～16時 ■野中生涯学習センター ■対象60歳以上 ■料金無料 ■定員各10人・先着順 ■申込開始11月11日(出)10時
◎同センター (☎ 34・4996、FAX 34・5018)

認知症予防入門 体を動かす健康脳活
12月2日(出)13時30分～15時30分 ■えーるピア久留米 ■対象60歳以上 ■料金500円 ■定員20人・抽選 ■申込締切11月20日(月) ■申込方法電話、ファクス、メール、窓口、ホームページ
◎生涯学習センター (☎ 30・7900、FAX 30・7911、✉ elpia@piif.k-ikigaikenko.jp)

やさしい傾聴講座
■内容傾聴に必要なコミュニケーションやスキル、活動方法を学ぶ ■12月7日(水)13時～16時 ■北野生涯学習センター ■対象60歳以上 ■料金500円 ■定員30人・抽選 ■申込締切11月20日(月) ■申込方法電話、ファクス、メール、窓口、ホームページ
◎生涯学習センター (☎ 30・7900、FAX 30・7911、✉ elpia@piif.k-ikigaikenko.jp)

レジ袋サイズの指定ごみ袋デザインを市民の投票で決めます

来年7月から市指定ごみ袋のレジ袋サイズ「特小型」を販売します。8つのデザイン候補の中から1つを市民投票で決定します。

■投票締切 11月22日(水)
■投票方法 電子申請。問い合わせ先と各総合支所環境建設課窓口にて投票用紙も準備
◎資源循環推進課 (☎ 30・9143、FAX 37・3344)

雨漏り原因調査します! 地域密着!! 施工実績 2,800棟以上 外壁塗装・屋根工事専門店

株式会社九州心塗 Kyushu Shinto

現地調査 お見積り **無料!!**

雨漏り・防水・塗装・大工・瓦・板金工事・シロアリ駆除/リフォーム等

TEL 0942-43-6660

久留米市山川追分 1-5-16

九州心塗 検索

「広報久留米を読んだ」とお伝えいただくと **8%OFF!**

独身のお子様の結婚相談承ります

独身のお子様を結婚に導くための相談会開催中

お子様の結婚に関するお悩み、プロの仲人が親身にお答えします

まずはお気軽にご相談下さい ☎ 0942-27-5640

結婚相談所ムスベル 久留米庄島町9-2 Lien 久留米.BLDG4 階

マル適マークCMS取得(2113001-34) ムスベル株式会社



これ、何、だ、て、る!? [77]

《消防ミニカーコレクション》

久留米広域消防本部（東櫛原町）2階の消防防災センターには、はしご車やポンプ車のミニカー210台が展示されています。平成24年、元消防長の家中一興さんが寄贈。世界の消防車や昔の消防車などが並んでいます。

センターでは初期消火や煙避難の体験など防災について学べます。

センターは土日祝も開館。団体のみ申し込みが必要です。入館無料



情報ほっとライン

市の人口 令和5年10月1日現在

		前月比	前年同月比
人口	301,654 人	-54	-910
男	143,282 人	-2	-440
女	158,372 人	-52	-470
世帯数	141,538 世帯	+135	+1,373

今月の納付（11月分）

口座・納付書		
国民健康保険料	6期	納期限 11月30日(木)
介護保険料	6期	
後期高齢者医療保険料	5期	

納付は便利で安心な口座振替で

市奨学生を募集

■対象市内に住んでいて、経済的な理由で高校などへの進学が困難な中学3年生 ■入学一時金公立2万円、私立3万円。月額奨学金公立5,000円、私立7,000円 ■定員70人・選考 ■申込期間11月8日(木)～12月8日(金) ■申込方法通っている学校に連絡

☎学校教育部（☎30-9217、FAX 30-9719）

本庁舎エレベーター改修

11月10日(金)から来年3月31日(日)まで、本庁舎西側エレベーター2台を改修します。期間中は他のエレベーターを使用してください。

☎設備課（☎30-9233、FAX 30-9707）

在日外国人へ障害者・高齢者給付金を支給

制度上の理由で障害年金や老齢年金を受けられない在日外国人に、給付金を支給しています。

【①障害者給付金】■対象昭和37（1962）年1月1日以前に生まれ、昭和57（1982）年1月1日までに日本国籍を取得したか外国人登録をした人で、取得・登録前から障害のあった人 ■支給額月額1万円

☎障害者福祉課（☎30-9035、FAX 30-9752）

【②高齢者給付金】■対象大正15（1926）年4月1日以前に生まれ、昭和57（1982）年1月1日までに外国人登録をした人で、永住又は特別永住許可を受けているか昭和36（1961）年4月1日以降に日本国籍を取得した人。ただし①の対象者を除く ■支給額月額7,000円

☎長寿支援課（☎30-9038、FAX 36-6845）